

星のたより

2023(令和5)年
7月号
Vol. 346

☆今月の豆知識☆
じ ゆう研究に悩む子供たちにグッドニュース!! 今年の星まつり参加して、工作体験コーナーや大型望遠鏡での星空観察に参加すると自由研究もばっちりだよ。毎年お盆のころに極大を迎える「ペルセウス座流星群」も、今年は月明かりがなくて条件がいいから観察のチャンスだね。



「星まつり」はじまります

～オープニングは
7月29日(土)～

第30回星まつり、今年は主に夏休み中の土日とお盆期間におこないます。期間中、工作体験コーナーやクイズコーナー、プラネタリウム、大型望遠鏡での観察会など、盛りだくさんの内容です。また初日となる7月29日(土)夜は、地元伝統芸能「津野傘踊り」「巖流太鼓」の実演もあります。お盆期間中は昼食コーナーもありますので、ホームページに掲載しているチラシを見て「これ!」というメニューをチェックしてくださいね。メニューによっては予約が必要ですので、ご注意ください。



星まつり：7月29(土)、30(日)、
8月5(土)、6(日)、11(金)～15(火)、19(土)、20(日)

期間展示「鳥取天文協会活動展」開催中

～星の写真と
お役立ちグッズ～

「鳥取天文協会」は1995年4月1日に設立された、鳥取近隣の天文愛好家の会です。現在五十数名の会員さんが、望遠鏡で星を観察したり、撮影したりとさまざまな活動を展開しています。今回、鳥取天文協会として初めてさじアストロパークで展示していただくこととなりました。美しい天体写真や、お役立ち手作りグッズなどをご覧ください。



展示期間：6月21日(水)～9月18日(月祝)

イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「鳥取天文協会活動展」6月21日(水)～9月18日(月祝)
主に鳥取県内の天文愛好家の星空の写真やお役立ち手作りグッズなどを展示します。

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 月をめざして 6月21日(水)～9月18日(月祝)

☆夜間観望会☆ ☆7月のテーマとおすすめ情報

月	1(土)、28(金)、29(土)
宇宙ふしぎ探検「七夕の星を見よう」	7(金)
へび座の星の集まり M5	8(土)
さそり座の1等星アンタレス	14(金)～16(日)
ヘルクレス座の星の集まり M13	21(金)、22(土)
観望会で満天の星が楽しめる	6(木)～9(日)、12(水)～17(月祝)、20(木)～23(日)
観望会で月がよく見える	1(土)、23(日)、25(火)～30(日)



☆7月の休館日 3(月)、10(月)、11(火)、18(火)、19(水)、24(月)、31(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

定員40名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。前半のライブトークでは、当日夜に見える星空や季節の星座などを紹介しています。

夏のテーマ番組「月をめざして」 投影開始

夏のテーマ番組「月をめざして」の投影が始まりました。迫力あるロケット打ち上げシーン、ジュール・ヴェルヌの「月世界旅行」や、人工衛星やロケットの仕組み、研究者たちの伝記といった様々な話を織り交ぜ、小学生から大人までお楽しみいただけます。ご家族皆さんで、月への憧れや夢について語り合えるきっかけにもなります。

定員40名で実施中

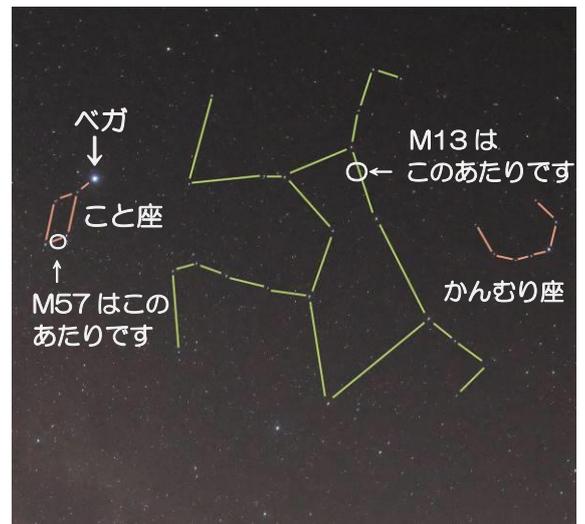
2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察してみましょう。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。

7月の注目天体情報

☆ヘルクレス座

1等星や2等星といった明るい星はありませんが比較的大きな星座です。初夏のころ、頭上近くにやってきます。探すコツは、こと座とかんむり座を見つけて、ちょうどその2つの星座の真ん中にヘルクレス座があります。ギリシャ神話に登場するヘルクレスは、12の危険な大冒険を成し遂げた英雄で怪力の持ち主です。



☆球状星団

M13 (ヘルクレス座)

ヘルクレス座には、見事な球状星団があります。何十万もの恒星が集まった姿は一見の価値があります。

距離 2万5,100光年

明るさ 5.8等

見かけの大きさ 10'

☆惑星状星雲

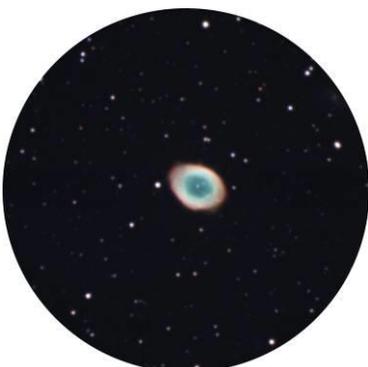
M57 (こと座)

望遠鏡で見たイメージから「リング星雲」「ドーナツ星雲」などの愛称で呼ばれます。

距離 2,600光年

明るさ 9.3等

見かけの大きさ 83" × 59"



星雲・星団について

④ 惑星状星雲

(わくせいじょうせいうん)

太陽質量の7倍以下の恒星が、寿命の尽きるころの姿です。赤色巨星となった後、年老いた恒星から放出されたガスが、高温の中心星からの紫外線によって光っています。放出されたガスは丸く広がり、その形から「惑星状星雲」と呼ばれます。直径は1光年程度、寿命は数万年程度です。太陽も将来は惑星状星雲となって、その生涯を終えると考えられています。

天の川と七夕イベント情報

7月になると、21時を過ぎると天の川が見えるようになります。そして、7月といえば七夕。今回は天の川と七夕イベントの情報をお知らせします。

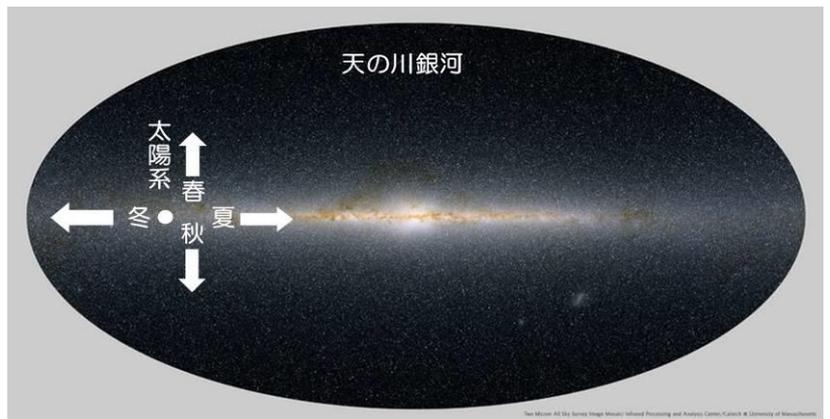
天の川を見よう



まずは実際に天の川を見てみましょう、といってもどこでも見える訳ではありません。見える条件として一番重要なのは、まわりに余計な明かりがない事です。街明かりがない暗い場所で、月明かりがない時に見えるかどうか挑戦してみてください。ちなみに、見てわかりやすいのは、大きな十字が目じるしのはくちょう座のあたりでしょうか。白い雲のようなものが見えたら、それが天の川です。

天の川とは

地球のある太陽系は天の川銀河の中にあります。その位置ですが、中心から2万6100光年の所にあります。夏の星座は銀河の中心方向に見ることが出来ます。そのため、星の数も多く見ることが出来ます。また天の川を見ることは我々のいる銀河を見ることになります。銀河の中心はいて座方向です。ちなみに、冬の星座は中心とは反対方向、銀河の端の方を見ることが出来ます。ですので、夏に比べると淡いですが、冬も天の川を見ることが出来ます。



七夕イベント情報

～ ～

鳥取市さじアストロパーク



<p>幼児向けプラネタリウムと七夕工作</p> <p>日：2023年7月7日(金)</p> <p>時：10時30分～11時20分</p> <p>番：星のお話と七夕物語(約30分)</p> <p>工：七夕工作(約20分)</p> <p>定：40名</p> <p>※事前予約が必要です</p> <p>料：一般(高校生以上)600円</p> <p>小人(小・中学生)200円</p> <p>※入館料・観覧料含む</p>	<p>宇宙ふしぎ探検「七夕の星を見よう」</p> <p>日：2023年7月7日(金)</p> <p>時：20時00分～21時30分</p> <p>購：20:00～20:25 七夕の星の見つけ方(会議室)</p> <p>20:30～21:10 大型望遠鏡で観察(4階観望室)</p> <p>21:15～21:30 目で星の観察(外の広場)</p> <p>毎来星天晴</p> <p>20:00～20:45 七夕の星の紹介(プラネタリウム室)</p> <p>20:50～21:30 工作(会議室)</p> <p>定：40名(事前予約が必要です)</p> <p>料：一般(高校生以上)600円</p> <p>小人(小・中学生)200円</p> <p>※入館料・観覧料含む</p>
--	---

お問い合わせは 鳥取市さじアストロパーク
鳥取市佐治町高山 1071-1
電話 0858-89-1011

7月7日は、幼児対象のプラネタリウムを10時30分から行います。上映時間は約30分間で、通常の番組より短くなっています。プラネタリウムを見終わったあとは、簡単な工作を行います。出来上がったものは七夕飾りとしても使えます。

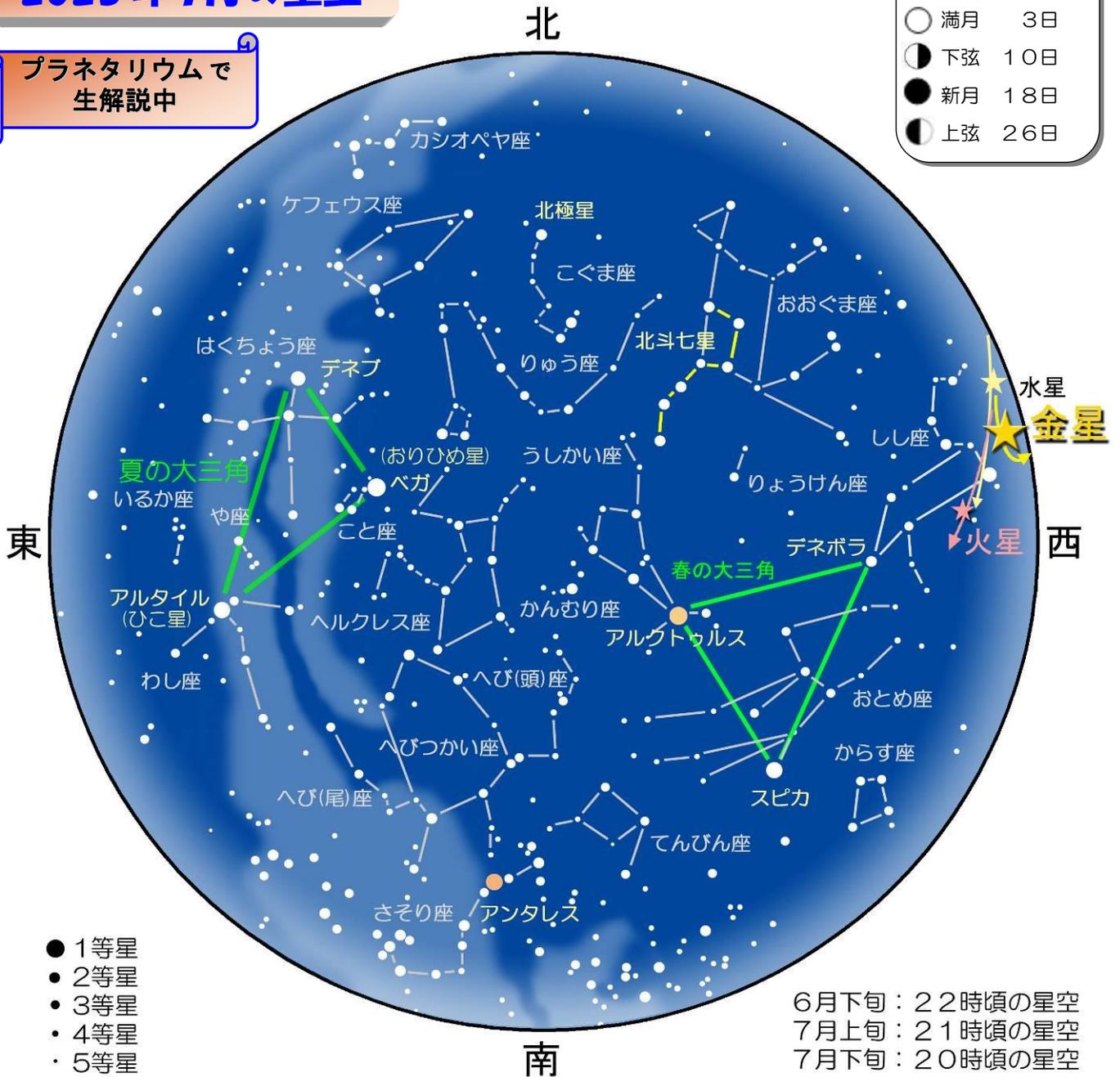
夜は、午後8時より「七夕の星を見よう」と題して観察会を行います。4階の大型望遠鏡で星を見た後は、外の広場で夏の星や天の川を見ます。また、コーヒー(有料ですが)を飲みながら、ゆっくりと天の川を見ることが出来ます。定員がありますが、スマホで天の川の撮影体験もできます。七夕イベントにぜひご参加ください。

2023年7月の星空

7月の月の暦

○	満月	3日
◐	下弦	10日
●	新月	18日
◑	上弦	26日

プラネタリウムで
生解説中



☆7月になると梅雨明けが待ち遠しいですね。梅雨の最中でも「梅雨の晴れ間」で突然きれいな星空と出会うときがあります。油断せず夜空をチェックしておきましょう。

☆西空で「宵の明星」で輝いていた金星が、だんだん見える高さが低くなってきて見えにくくなります。金星の近くには火星が見えますが、明るさは2等級ですのであまり目立ちません。7月20日には、細い月としし座の1等星レグルスが近くに見えます。水星も近くにありますが、見つけにくいかも。

☆2つの大三角を見つけてみましょう。東の空には小学校の教科書でおなじみの「夏の大三角」です。「ベガ」「アルタイル」「デネブ」の3つの1等星で直角定規のような三角をつくります。この辺りをちょうど天の川が通っていますので、目印に最適です。西の空には「春の大三角」です。あまり聞かないかもしれませんが、2つの1等星「アルクトゥルス」「スピカ」と2等星「デネボラ」の正三角形です。



プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さジアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp

さジアストロパーク

検索